

## 看護実習生を受けいれました!!

### 実習生がやって来た!

北7病棟では初めての基礎看護学実習の受け入れです。初めて看護の現場に足を踏み入れる学生に対し、どのように関わればよいか受け入れ体制作りにも努めました。まず、実習マニュアル、指導要綱にスタッフ全員が目を通しました。そしてカンファレンスを行い、なぜその行為を患者様に対して行うのか根拠から説明する事、報告・連絡・相談がしやすい雰囲気を作ること、基準手順に沿った安全な看護実践を行うことなど、日々、自分が行っている看護がきちんと語れることが必要だと意識統一を図りました。学生の目標が達成できるよう助言し、労災病院で働きたいと思ってもらえるようなよき看護モデルとなり、学生と共に成長できるよう努力していきたいと感じました。

### 実習生と接して

今回、初めての実習の学生を担当し、現在の実習を知り驚きで一杯でした。自身の時とは異なり、実習に当たり担当の患者様に同意書を取ったり、自分たちが使用する道具を持参していたり、血圧測定や環境整備などを行う時に時間が合う限り担当教員の指導がリアルタイムで入ったりと実習環境が異なっている現状を知りました。初めての実習で何事にも緊張しながら一生懸命な姿を見て、私達にも刺激になった2日間でした。

## もちもち★もちべーしょんあっぷ

頑張って頑張って頑張った人に、「ガンバレ」はもういらないのです。

頑張りたいのに頑張れない その人の、ただ、そばにいてあげたり、ただ、話を聞いてあげて相槌を打ってあげたり、ただ、認めてあげたり...

そうしてくれると、『頑張れる』のです。  
大好きな人を悲しませたくない一心で、頑張れるのです



merry Christmas  
from santa AIRO

### 看護研究を行って



私たちは、最近テレビでも取り上げられるようになった尿漏れ体操の「骨盤底筋群体操」をテーマに研究を行いました。研究計画書作成の段階から選考文献の数が少なく、手探り状態からの研究開始でした。また、受診に羞恥を伴うため、受診してくる患者が少ない現状の中、研究対象を確保することが予想以上に困難でした。研究中は、対象者が少ないにも関わらず、患者一人ひとりの言葉からいろいろな気持ちを察することが出来、一番近くで接することのできる私たち看護師の声かけや、アプローチが大切であることを改めて実感することが出来ました。この研究を通し、外来看護師として本来あるべき姿を考えさせられ、骨盤底筋群体操指導はもちろん日々の外来看護の質向上へもつながる研究ができました。

### 院内接遇研修に参加して



先日、芸人から学ぶ! 笑撃医療コミュニケーション『なんでやねん力』を受講しました。

大きな口を開けて手を叩きながら笑ったりとコミュニケーション能力の向上を図る内容でした。講師は「なんでやねん」を「問題発見力」と位置付けて説明していました。「成功や失敗したのはなんでやねん」と、あらゆる出来事の原因を追究し、問題解決する必要があると言っていました。これを繰り返すことによって成功率が高まるそうです。「なんでやねん力」と「コミュニケーション力」が合わされば、どんなことにも対応できると感じました。医療現場で「なんでやねん力」を活用できるように努力していきたいです。